

# 嘔吐物の処理、消毒方法



## <ノロセット>

- ・塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）
- ・使い捨てマスク・手袋・上着
- ・使い捨てタオル（ペーパータオルや新聞紙）
- ・ビニール袋（大・中 複数枚）
- ・希釈器具（ペットボトル・バケツ）
- ・手洗い用石けん ＊バケツは2個あると便利



- ・使い捨て手袋・マスク
- ・上着は大きなポリ袋に襟・袖口箇所をカットした物で代用

消毒薬を薄める容器には、薬剤の量や水を入れるところまでの印を記載しておく。

6%塩素系漂白剤を60倍に薄めると0.1% (1,000ppm)



作り置きはせず、その都度作る。

0.1%塩素系漂白剤を浸した新聞紙やタオル



1

広げないように拭き取る



2



3

0.1%塩素系漂白剤で汚れた場所を浸すように拭く (2m以上飛んでいる場合もあるので広く)



4

0.1%の塩素系漂白剤



5

密封し廃棄



6

外側を内側にしてはずす

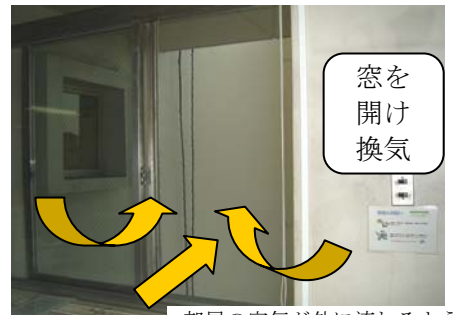


7



8

窓を開け換気



部屋の空気が外に流れるように

- ・大まかな汚物を取り除いた後、汚染したと考えられる場所は0.1%塩素系漂白剤で消毒
- ・周囲の壁、患者が触れるところ（手すり、ドアノブ、スイッチ、トイレ、トイレのレバー、手洗いの水道栓等）は0.02%塩素系漂白剤で消毒をしましょう。 厨房に戻る食器や配膳車も消毒をすること。
- ・作業従事者は終了後、手洗いを忘れずに！

# 塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）の消毒薬（希釈液）の作り方

		希釈液濃度			
		0.02% (200ppm)		0.1% (1000ppm)	
		希釈倍	希釈方法	希釈倍	希釈方法
原液濃度	1%	50倍	水1ℓ + 原液 20ml	10倍	水1ℓ + 原液 110ml
	5%	250倍	水1ℓ + 原液 4ml	50倍	水1ℓ + 原液 20ml
	6%	300倍	水1ℓ + 原液 3.3ml	60倍	水1ℓ + 原液 17ml
使用場所		<ul style="list-style-type: none"> <li>調理器具</li> <li>床、トイレのドアノブ、レバー、便座、手洗いの水道栓 等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>嘔吐物、ふん便自体</li> <li>拭き取った嘔吐物等の付いた紙</li> <li>ふん便のついたオムツ 等</li> </ul>	

《目安》・・・市販の塩素系漂白剤は5～6%が多い。ペットボトルのキャップ1杯は約5ml。

## 塩素系漂白剤の消毒薬は、簡単に作れます！

**【参考例】 1.5リットル（1500ml）ペットボトルに、希釈した消毒薬を作る。（濃度6%の原液を使用した場合）**

◆ **0.02% (200ppm)** を作る目安

→ ペットボトルキャップ1杯の原液（計4.95 ml）を  
ペットボトルに入れ、水を加えて1.5リットル（1500 ml）にする。  
(できあがり)

◆ **0.1% (1000ppm)** を作る目安

→ ペットボトルキャップ5杯強の原液（計25.5 ml）を  
ペットボトルに入れ、水を加えて1.5リットル（1500 ml）にする。  
(できあがり)

## 【次亜塩素酸ナトリウムとは？ 使用上の注意】

- 塩素系漂白剤の成分です。
- 消毒効果を保つため、原液は遮光のできる場所に保管してください。
- 希釈した消毒薬は時間とともに消毒効果がなくなるので作り置きはせず、消毒時にその都度作ってください。
- 金属材質を腐食することがあるので、消毒後は速やかに水で洗うか、拭き取ります。
- 衣服やじゅうたん等に使用すると色落ちすることがあります。
- 使用する時は十分な換気をしましょう。酸性の洗剤等と混ぜると塩素ガスが出るがあるので併用しないでください。
- 皮膚荒れを起こしてしまうため、手指などの消毒には使えません。